

Dovetail Genomics の技術を用いた次世代シーケンス解析受託

久郷 和人

公益財団法人 かずさ DNA 研究所 ゲノム事業推進部 遺伝子構造解析グループ

要旨

近傍ライゲーション技術は、網羅的な染色体領域間の相互作用の解析や、遺伝子発現制御機構や染色体動態の解析に用いられ、様々なプロトコルが開発されてきた。ゲノム解析でも、do novo アセンブリやハプロタイプフェージングなどに利用されている。解析においては、ゲノム全体にわたって均一性の高いデータを取得することが重要であり、Dovetail Genomics 社の近傍ライゲーション技術を使用することで均一性の高いデータを得ることができる。かずさ DNA 研究所では、様々な生物種のゲノム解析を行ってきた実績があり、Dovetail Genomics 社の近傍ライゲーション技術も使用している。

かずさ DNA 研究所では、これまで培ってきたシーケンス技術やノウハウを社会に還元するために、ショートリードおよびロングリードの次世代シーケンサーを使用した全ゲノムシーケンス解析や RNA-Seq 解析をはじめとする様々なアプリケーションを提供している。本講演では、Dovetail Genomics 社の技術を用いた解析を中心に受託解析について紹介する。